

仕様書

1. 件名 研修棟における機器・設備等の保守管理に係る支援業務

2. 目的

共創推進部人財・交流課では、放射線の防護と安全、放射線の医学利用等に資する各種研修及び所内行事に関連する業務を実施している。研修の質の向上を目指し、また受講生の安全を確保するために、研修棟で所有する各種測定器・設備等の保守管理は必須である。そのため、研修棟において、研修事業で使用する放射性同位元素(RI)の管理、放射性廃棄物の整理、放射線測定器の保守管理、管理区域内の設備点検等に係る支援業務を委託する。

3. 履行期間

令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日

4. 履行場所

千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

放射線医学研究所共創推進部人財・交流課 研修棟

5. 業務内容

- ① 研修棟放射線管理区域内における施設・設備に関わる点検・管理
 - ② 研修に使用する放射線測定機器類の準備、保守・管理
- 詳細は、別紙(仕様明細書)を確認すること。

6. 業務に必要な経験(実績)・能力

- ① 3年以上の放射線管理業務経験を有していること。
- ② 密封・非密封RIを用いた作業経験を有していること。
- ③ 放射線測定器の動作原理を理解し、放射線測定作業経験を有していること。

7. 請負者の服务等

- ① 請負者は本業務上知り得た知識又は技術を許可なく他に漏らし利用してはならない。
- ② 請負者は法令に基づいて、作業者を放射線業務従事者として管理し、健康診断、教育訓練、千葉地区における被ばく管理等を請負者負担にて実施すること。
- ③ 請負者は、作業者に千葉地区の諸規程を順守し作業を行わせるとともに、次の事項について手続きなどを行うこと。
 - 1) 作業開始2週間前までに千葉地区における放射線業務従事者指定手続きを行うこと。
 - 2) 作業者に千葉地区就業前教育訓練を受講させること。
 - 3) 作業終了後3日以内に千葉地区放射線業務従事者指定解除手続きを行うこと。
- ④ 請負者は、千葉地区における作業の被ばく管理報告を月毎にまとめ、作業が終了した月の経過後45日以内に提出すること。
- ⑤ 請負者は支援業務内容の高度さ、複雑さに鑑み、作業者の配置転換等については十分に業務引継ができる期間をもって事前にQST職員に告知すること。

8. 提出書類

請負者は次の報告書等を作成し、QST職員に①、②及び③は契約後速やかに、④、⑤及び⑥は毎月、⑦は業務毎に提出する。

- ① 作業者名簿
- ② 放射線業務従事者申請書(千葉地区様式)
- ③ 健康診断結果
- ④ 作業日報(代表者作成)
- ⑤ 出勤状況報告書
- ⑥ 被ばく線量測定結果
- ⑦ その他、仕様書に記載している各種報告書

なお、点検の結果、測定器の故障等を認めた場合には、直ちに QST 職員に報告し、点検結果の報告書を提出すること。

9. 検査

QST職員が「8. 提出書類」の提出により「5. 業務内容」を満たしていることを確認したことを以て検査合格とする。

10. グリーン購入法の推進

- ① 本契約において、グリーン購入法に適用する環境物品(事務用品、OA機器等)の採用が可能な場合は、これを採用することが望ましい。
- ② 本仕様で定める納入印刷物については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものが望ましい。

11. その他

- ① 研修の年間計画は契約締結後に提示する。作業日は別紙(仕様明細書)に基づき計画すること。
 - ② 必要なPCや各種デジタル機器類の取扱いについて習熟していること。
 - ③ QST職員等と良好なコミュニケーションがとれること。
 - ④ 当該業務に必要な、机、ロッカー等備品類はQSTで提供する。
 - ⑤ 当該業務に必要な光熱水料・電話代は、QSTが負担する。極力無駄な使用は避けること。
 - ⑥ ウイルス感染等で勤務者が出勤できない場合は代理の者を派遣すること。
 - ⑦ 休憩等に要する施設は、QSTが提供する。
 - ⑧ 管理区域内で使用する作業衣及び靴は、QSTが提供する。
 - ⑨ 個人被ばく線量の管理費及びバッジ等の経費は、請負者の負担とする。
 - ⑩ 業務上、請負者が被った災害は、QSTの原因により生じた災害を除き、QSTは一切の責任を負わないこととする。
 - ⑪ QSTへの通勤は、公共交通機関を利用することとし、車通勤は認めない。
 - ⑫ 令和7年度に本件に係る業務を履行していた業者と、事前に5. 業務内容に示す事項について引き継ぎを行うとともに、本契約終了後に次の業者への引継ぎにも協力すること。その他、本仕様書の認識内容について疑義が生じた場合は、協議の上処理するものとする。
- なお、令和7年度履行業者は契約締結後に開示する。

所属: 放射線医学研究所共創推進部人財・交流課
氏名: 大場 久照

【別紙】 研修棟における機器・設備等の保守管理に係る支援業務の請負 仕様明細書

●施設の点検・管理支援業務

支援業務	頻度		
	回/日	回/月	回/年
(1)研修棟放射線管理区域内における施設・設備に関わる点検・管理			
①管理区域内/パトロールおよび作業環境の整備の補助業務			
・整理整頓状況、電気・水道・ガス、廃水設備等の点検等 1回/日	1		241
・出入り扉の開錠・施錠 1回/日	1		241
②放射性廃棄物の整理と引渡し 必要時			2
③放射性廃棄物の整理・整頓及び管理簿作成 1回/月		1	12
④職員とともに放医研「予防規程」に基づき、廃棄物を分類、書類作成後に放射線安全課へ引き渡す			2
⑤その他の放射線管理に関する書類			
・放射線管理関連書類の作成、管理、放射線安全課へ提出 必要時(1回/月程度)		1	12
(2)放射線測定器類の保守・管理			
①放射線測定器の保守・管理 (表1:保守・管理機器類一覧)			
・定期点検 1回/年			1
・効率測定、校正 1回/年			1

表1 保守・管理機器類(効率測定・校正)

点検機器	台数	頻度(回/年)	
		点検	校正
・GMサーバイメータ	39	1	1
・電離箱サーバイメータ	9	1	1
・NaIサーバイメータ	32	1	1
・中性子サーバイメータ	5	1	1
・ZnSサーバイメータ	8	1	1
・ α/β サーバイメータ	2	1	1
・電子ポケット線量計	67	1	1
・指頭型電離箱+電離箱リーダー	5	1	1
・バイオイメーjingアナライザーシステム	1	1	1
・液体シンチレーションカウンタ	3	1	1
・GM自動測定装置	3	1	1
・GM管式スケーラ	9	1	1
・NaI+MCAスペクトロメトリシステム	3	1	1
・携帯用多目的(α 線、 β 線、 γ 線、X線)サーバイメータ	20	1	1

【保守・管理内容】

- 外観検査、自然計数率及びチェックソースによる機能検査
- 計数回路のパルスチェック等による回路機能検査
- 標準線源による機器効率等の効率測定又は基準測定器との比較校正
- その他、測定器毎に定められた点検項目